

平成28年度ホンモロコ資源回復対策事業 実績報告書

1. 事業実施状況

(1) 事業実施方針

協会は、ホンモロコ資源回復対策事業において、天然魚由来の種苗生産用親魚を生産・養成することと、前年度までに養成した親魚から生産した卵、仔魚の放流を行う。

(2) 事業実施結果の概要

- ・採卵用親魚には、山田網イケス 15 張（60 m²×15）において継続飼育している 1 歳魚以上の親魚、総尾数 410.4 千尾、総重量 3,192.6kg、平均個体重 7.8g/尾）を用いた。
- ・採卵基体には、遮光シート枠を用いて自然採卵し、目測で 4～6 万粒／枠の産着を確認できたものより随時回収した。
- ・回収した採卵基体は速やかに輸送し水田に設置するか、栽培センターでふ化させた後に放流した。なお、放流した卵の一部は、放流効果確認のために ALC 標識を施した。
- ・放流した卵のふ化仔魚数は、栽培センターでふ化させた仔魚を計数し、1 枠当たりのふ化仔魚数を算出し、採卵枠数に乗じて総放流尾数とした。算出した 1 枠当たりの平均ふ化仔魚数は、54 千尾であった。
- ・放流したふ化仔魚の総計は、2,763.2 万尾（内、344.5 万尾標識魚）であった。
- ・各地区何か所かにおいて流下率を算出し平均したところ、今年度の流下率は 23%、平均全長 23.9 mmであった。よって今年度の田んぼからの 2 cm 稚魚の流下尾数は 635.5 万尾（内、79.2 万尾標識魚）と推定した。
- ・次年度の親魚候補の生産については、山田漁協に再委託して実施した。
- ・採卵終了後の親魚を、計量したところ、総尾数 125.5 千尾、総重量 1,933.4kg、平均個体重 15.4g/尾になった。これに今年度生産した当歳魚親魚候補、総尾数 31.9 千尾、総重量 246.7kg、平均個体重 7.7g/尾を加え、合計総尾数 157.4 千尾、総重量 2,180.1kg、平均個体重 13.9g/尾を次年度の親魚候補として継続飼育する。

(3) 事業実施期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

(4) 担当者

(公財) 滋賀県水産振興協会 田中 満

2. 添付書類

(1) 事業結果

1) 水田を活用した種苗生産結果

a. 水田への卵収容結果

水田は高島市マキノ町、新旭町、安曇川町南船木、長浜南部土地改良区内、近江八幡市安土町常楽寺、南湖東岸の6地区に依頼し、5月上旬から6月上旬にかけて採卵後速やかに輸送するか、栽培センターでふ化させた後収容した。地区別の収容結果を表. 1に示す。

計数については、産卵盛期に採卵したいくつかのシートをセンターにてふ化させて計数した。計数は5月下旬と6月上旬に行い、その平均を1枠あたりのふ化仔魚数とした。その結果、1枠当たりから採れたふ化仔魚は、平均54千尾/枠であった。ふ化仔魚の計数結果を表. 2に示す。

表. 1 地区別放流量						
水田地区名	放流日	反数	放流卵数 (遮光幕枠数)	ふ化仔魚尾数 万尾(換算値)	ふ化仔魚尾数 万尾(計数値)	ふ化仔魚尾数 万尾(合計)
マキノ地区	'16/5/16~6/3	209.4	125	675.0	38.0 (38.0)	713.0 (38.0)
新旭地区	'16/5/20~6/3	422.4	225	1,215.0	236.4 (186.7)	1,451.4 (186.7)
南船木地区	'16/5/16~6/3	63.1			89.2 (20.0)	89.2 (20.0)
長浜南部地区	'16/5/11~5/15	70.7			230.4 (50.0)	230.4 (50.0)
常楽寺(西の湖 安土)	'16/5/21~6/4	59.6			138.5 (33.5)	138.5 (33.5)
南湖(下笠・山賀)	'16/5/19~6/4	59.1			140.7 (16.3)	140.7 (16.3)
計		884.3	350	1,890.0 (0.0)	873.2 (344.5)	2,763.2 (344.5)
()内はALC標識の尾数						

表. 2 ふ化仔魚計数結果			
算出基礎内訳			
ふ化日	使用遮光シート数	ふ化仔魚尾数 (千尾)	遮光シート1枚分当り ふ化仔魚尾数(千尾)
5月下旬	18	1,196	66
6月上旬	37	1,750	47
合計	55	2,946	54

b.育成管理

各地区において、農業者に水田の面積と農薬散布日、中干し予定日を聞き取り調査した後、放流予定日を決定し、説明会を開催して放流魚の管理が適正に行われるよう指導した。

c.流下結果

各地区において流下尾数を計数し、流下率を算出したところ、その平均流下率は23%となり、この数字を元に放流数量を推定した。流下率の計数結果を表. 3に示す。

表. 3 流下率計数結果									
水田地区名	放流種別	調査日	面積 (反数)	放養尾数 (万尾)	流下尾数 (万尾)	流下重量 (kg)	g/尾	全長 (mm)	流下率 (%)
新旭(太田地区)	ふ化仔魚	6/21~23	3.5	9.0	3.4	7.09	0.21	29.1	38
新旭(太田地区)	ふ化仔魚	6/28~7/1	3.7	11.0	1.2	1.49	0.12	21.7	11
新旭(藁園地区)	ふ化仔魚	6/28~7/1	2.9	5.9	2.1	2.35	0.11	20.9	36
新旭(藁園地区)	ふ化仔魚	7/4~6	3.0	5.9	1.1	1.74	0.16	23.9	19
南湖地区	ふ化仔魚		3.1	8.2	0.3	0.80	0.23	22.9	4
南湖地区	ふ化仔魚		2.8	8.4	3.7				44
新旭(藁園地区)	卵	6/28~7/1	2.9	10.8	1.1	1.72	0.16	23.0	6
新旭(藁園地区)	卵	6/28~7/1	3.1	10.8	3.0	3.55	0.12	21.9	15
			25.0	70.0	15.9			24.0	23

今年度の放流尾数は、6地区の水田でふ化仔魚数換算して合計2,763.2万尾（内、344.5万尾に標識）であった。その放流数に前述の流下率を乗じて、今年度水田からの20mmサイズ稚魚の放流は635.5万尾（内、79.2万尾に標識）と推定した。地区別の放流数量を表. 4に示す。

表. 4 地区別放流量							
水田地区名	反数	放流卵数 (遮光幕枠数)	ふ化仔魚尾数 万尾(換算値)	ふ化仔魚尾数 万尾(計数値)	ふ化仔魚尾数 万尾(合計)	流下率 (%)	水田からの流下尾数 万尾
マキノ地区	209.4	125	675	38.0 (38.0)	713.0 (38.0)	23.0	164.0 (8.7)
新旭地区	422.4	225	1215	236.4 (186.7)	1,451.4 (186.7)	23.0	333.8 (42.9)
南船木地区	63.1			89.2 (20.0)	89.2 (20.0)	23.0	20.5 (4.6)
長浜南部地区	70.7			230.4 (50.0)	230.4 (50.0)	23.0	53.0 (11.5)
常楽寺(西の湖 安土)	59.6			138.5 (33.5)	138.5 (33.5)	23.0	31.9 (7.7)
南湖(下笠・山賀)	59.1			140.7 (16.3)	140.7 (16.3)	23.0	32.4 (3.7)
計	884.3	350	1890	873.2 (344.5)	2,763.2 (344.5)	23.0	635.5 (79.2)

2) 親魚養成

a. 当歳魚

水試より供与された天然親魚由来の卵（4月14～15日に採卵、ふ化仔魚2,800千尾相当）を使って、次年度採卵用の親魚候補として20mm稚魚を33.0千尾27.09kg生産した。その後、60m²の大型網イケス3張に分養し、12月の計量時に31.9千尾、総重量246.7kg（平均体重7.7g/尾）に成長した。当歳魚の長期飼育の結果は、表. 5に示す。

今年度は、5月の中下旬に雨量が少なく天気は安定していたため、全長1～2cmまでの生育は順調であったが、水の交換が少ないことでトリコディナ症等の病気が蔓延し、その後大量の斃死を出し、当歳魚の親魚候補が非常に少なくなった。

表. 5 当歳魚長期飼育結果

モロコ+

区分	収容日	尾数 (尾)	重量 (kg)	g/尾	網替日	尾数 (尾)	重量 (kg)	g/尾	歩止り (%)	給餌量 (kg)	餌料効率 (%)
B-7	7月8日	12,000	9.36	0.8	12月2日	10,600	90.2	8.5	88	265	31
B-9	7月7日	11,000	8.63	0.8	12月5日	10,500	77.3	7.4	95	210	33
B-10	7月7日	10,000	9.10	0.9	12月5日	10,800	79.2	7.3	108	180	39
合計		33,000	27.09	0.8		31,900	246.7	7.7	97	655	34

b.越年魚

山田イカダで採卵に使用した親魚を採卵終了後の7月に網交換とイケスの移動を行い、その後飼育し計量した結果、125.5千尾、総重量1,933.4kg(平均重量11.6g/尾)になった。(表.

6)

表. 6 越年魚長期飼育結果

モロ 1+over

区分	収容日 (2015)	尾数 (尾)	重量 (kg)	g/尾	網替日	尾数 (尾)	重量 (kg)	g/尾	歩止り (%)	給餌量 (kg)	年齢
B-1	9月15日	11,400	236.8	20.8	12月1日	7,200	168.0	23.3			
B-2	9月15日	11,700	158.2	13.5							
		23,100	395.0	17.1		7,200	168.0	23.3	31	740	2+,3+
B-3	9月15日	8,500	156.6	18.4	12月1日	6,900	168.8	24.5			
B-4	9月26日	14,100	236.2	16.8							
		22,600	392.8	17.4		6,900	168.8	24.5	31	640	2+,3+
B-6	9月26日	10,500	195.8	18.6	12月2日	11,600	268.8	23.2			
B-7	9月16日	13,800	236.2	17.1							
B-10	9月26日	12,200	171.8	14.1							
		36,500	603.8	16.5		11,600	268.8	23.2	32	920	2+,3+
B-8	9月16日	10,600	148.2	14.0	12月2日	6,200	145.4	23.5			
B-9	9月16日	13,400	235.8	17.6							
		24,000	384.0	16.0		6,200	145.4	23.5	26	680	2+,3+
D-1	9月26日	27,000	129.8	4.8	11月29日	11,900	158.8	13.3	44	500	1+
D-2	9月28日	22,500	123.8	5.5	11月29日	14,700	163.6	11.1			
D-3	9月28日	40,400	169.6	4.2							
		62,900	293.4	4.7		14,700	163.6	11.1	23	660	1+
D-4	9月28日	35,200	144.2	4.1	11月29日	11,000	142.4	12.9	31	420	1+
D-5	9月29日	74,200	281.8	3.8	11月30日	17,100	176.4	10.3	23	625	1+
D-6	9月29日	17,800	115.4	6.5	11月30日	8,900	136.8	15.4	50	430	1+
D-7	9月29日	17,400	102.4	5.9	11月30日	7,100	112.8	15.9	41	440	1+
D-8	9月30日	19,900	105.6	5.3	12月1日	8,000	118.8	14.9	40	440	1+
D-9	9月30日	21,600	123.0	5.7	12月1日	14,900	172.8	11.6			
D-10	9月30日	28,200	121.4	4.3							
		49,800	244.4	4.9		14,900	172.8	11.6	30	580	1+
合計		410,400	3,192.6	7.8		125,500	1,933.4	15.4	31	7,075	

また、2016 年 11 月に水産試験場より天然由来の親魚候補を 18.2 千尾、145.0 kg（平均重量 8.0 g/尾、0～2 歳魚）譲受した。以上、当歳魚および越年魚合わせて、総尾数 175.6 千尾、総重量 2,325.1 kg（平均重量 13.2g/尾）を次年度の親魚候補として確保した。（表. 7）

表. 7 次年度親魚総確保量

親魚まとめ

区分	尾数 (尾)	重量 (kg)	g/尾		尾数 (尾)	重量 (kg)	g/尾	歩止り (%)	給餌量 (kg)	備考
0+	33,000	27.1	0.8	→	31,900	246.7	7.7	97	655	
1+以上	410,400	3,192.6	7.8	→	125,500	1,933.4	15.4	31	7,075	
水試譲受魚					18,200	145.0	8.0			
総計					175,600	2,325.1	13.2	←親魚確保量		

(2) 事業実施写真



親魚養成風景



産卵状況



産卵基体



親魚計量

卵



親魚イネス内で成長した外来魚



イカダでの採卵風景



ふ化し魚



ふ化槽



産卵基体の保管



ふ化仔魚計数作業



網洗浄



水田放流



流下稚魚調査



流下稚魚



網修理



夏場のアオコ状況



自家発修理